

★シロイチモジヨトウ情報

ネギ等の野菜類、豆類及び花き類を加害するシロイチモジヨトウのフェロモントラップへの誘殺数が急増しています。

1. 発生状況

8月第6半旬から9月第5半旬現在のフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で例年比や多く、亀岡市及び京丹後市では例年並ですが、いずれの地域も9月下旬に入って急激に増加しています（図1）。

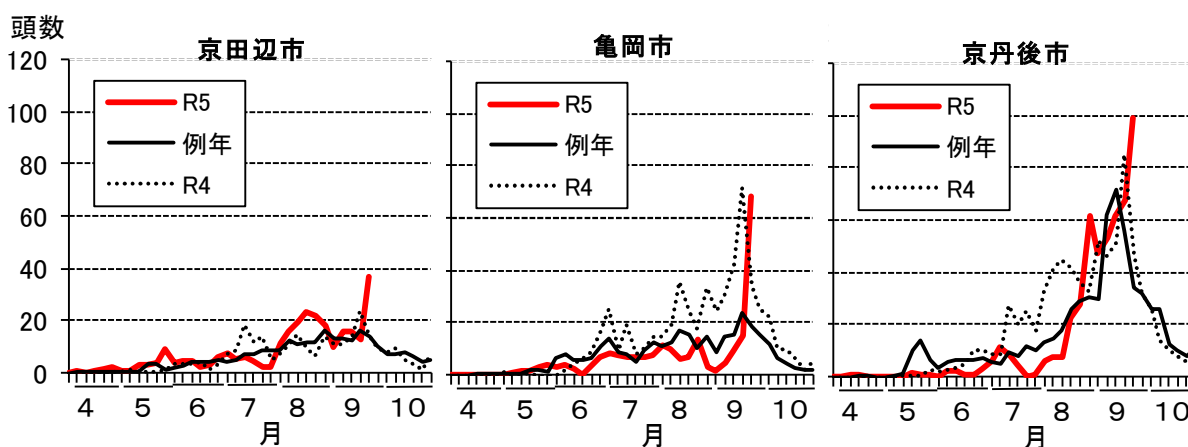


図1 フェロモントラップへのシロイチモジヨトウの誘殺状況

2. 気象予報

大阪管区気象台9月28日発表の近畿地方1か月予報によると、気温は高く、降水量はほぼ平年並と予想されており、本種の増殖しやすい状態が続くと考えられます。

3. 防除上の留意事項

- (1) 齢が進んだ幼虫では農薬の効果が著しく低下するので、若齢幼虫期の防除が重要です。
- (2) 被害葉及び収穫残さが本種の発生源となるので、一箇所にとまどめて積み上げ、虫の拡散を防ぐため、表面をビニルで被覆する等、適切に処分してください。
- (3) 寄主範囲が広く、ネギ等の野菜類、豆類及び花き類を加害するので注意してください。



写真 ネギでのシロイチモジヨトウの卵塊（左）幼虫（中）、被害株（右）